

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成27年1月27日

上場会社名 ムラキ株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7477 URL <http://www.muraki.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永井 清美
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 上中 良典 TEL 042-357-5610
 四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績（平成26年4月1日～平成26年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	6,422	△4.7	39	△42.9	89	△20.8	33	△52.3
26年3月期第3四半期	6,739	△2.5	69	△18.6	113	△12.4	70	△12.4

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 38百万円 (△47.6%) 26年3月期第3四半期 72百万円 (△9.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	2.36	—
26年3月期第3四半期	4.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第3四半期	4,562	2,291	50.2	161.38
26年3月期	4,517	2,281	50.5	160.69

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 2,291百万円 26年3月期 2,281百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	1.00	—	1.00	2.00
27年3月期	—	1.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	1.00	2.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成27年3月期の連結業績予想（平成26年4月1日～平成27年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,143	3.5	93	46.1	125	2.5	85	△12.4	5.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）一、除外 一社（社名）一

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期3Q	14,700,000株	26年3月期	14,700,000株
② 期末自己株式数	27年3月期3Q	500,924株	26年3月期	500,924株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期3Q	14,199,076株	26年3月期3Q	14,632,894株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及びその他の関連する事項につきましては、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日銀による金融政策や政府による経済政策を背景に、企業収益や雇用環境の改善により緩やかな回復基調で推移し、消費増税により一時的に減退した個人消費も徐々にではあるものの、持ち直しの傾向にあります。しかしながら一方では円安による原材料価格の上昇や天候不順などが障壁となり本格的な景気回復は未だ爾後の感は拭えません。

当社グループの主力販売商品であるカーケア関連商品の販売先であるサービスステーション(略称:SS)業界においては、高騰を続けていた燃料油価格が、11月を境に下降をはじめ、12月に入り下落が加速することで、顧客の購買に対する防衛意識が多少薄れたものの、購買意欲の向上までには至らず、「M-WING」の再アプローチ及びクロージング活動を優先したこともあり、売上高は一部において一時的に減少いたしました。しかしこれは今後の第4四半期以降に結実する行動であると考えています。

年度末に向けての当社の販売計画は「3つのNEW」を基軸に展開してまいります。油外収益確保に必要な情報伝達看板(MSP-Zero)をはじめとするLEDライトパネルを中心としたNEW商品。SSのウエイティングルームのリノベーションを喚起提案するNEW事業。更には新型のエアコンオイルチェッカーを絡めたエアコンリサイクラー関連企画のNEW企画。これに当年度の最大プロジェクトである「M-WING」の拡販を並行して目指してまいります。燃料油価格の乱高下が目立つ昨今、燃料油を売る側は販売価格に強い思い入れが生まれるまさに今こそ「M-WING」のニーズが求められる時代であるといえます。

また社会的現象でもある人材不足問題に対応する施策として当社が進めている新営業体系(営業と配送の分掌)の準備も着実に進行中であり、特に今年度はマンパワーの充実を図るため、賃金のベースアップを皮切りに福利厚生の一環として社員持株会の奨励金支援、更には将来を見据えたリクルートコストの加増に見られるように間接的人件費に資金を積極的に投入いたしました。

これらを踏まえた上で、前述の諸施策を全て成し遂げることで、年度経営目標の完達を目指してまいります。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高 6,422百万円(前年同期比 4.7%減)となっております。

収益面におきましては、営業利益 39百万円(前年同期比 42.9%減)、経常利益 89百万円(前年同期比 20.8%減)、法人税等 57百万円を計上し、四半期純利益は 33百万円(前年同期比 52.3%減)となっております。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

主力事業である「カーケア関連商品販売」事業については、上記の要因から、売上高は 6,344百万円(前年同期比 4.3%減)、セグメント利益は 35百万円(前年同期比 45.8%減)となっております。「その他」の事業につきましては売上高は 211百万円(前年同期比 10.9%増)となりセグメント損失は4百万円(前年同期のセグメント損失5百万円)となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は 3,459百万円となり、前連結会計年度末に比べ 83百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が 169百万円減少したものの受取手形及び売掛金が 252百万円増加したこと等によるものです。固定資産は 1,103百万円となり、前連結会計年度末に比べ 37百万円減少いたしました。これは主に投資その他の資産が 17百万円減少したこと等によるものです。

この結果、総資産は 4,562百万円となり、前連結会計年度末に比べ 45百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は 1,644百万円となり、前連結会計年度末に比べ 248百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が 212百万円増加したことと、1年内返済予定の長期借入金が 24百万円増加したこと等によるものです。固定負債は 626百万円となり、前連結会計年度末に比べ 213百万円減少いたしました。これは主に長期借入金の減少 123百万円と社債が 51百万円減少したこと等によるものです。

この結果、負債合計は 2,271百万円となり、前連結会計年度末に比べ 35百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は 2,291百万円となり、前連結会計年度末に比べ 9百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金の増加によるものです。

この結果、自己資本比率は 50.2%(前連結会計年度末は 50.5%)となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年5月8日付「平成26年3月期決算短信〔日本基準〕（連結）」にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

なお、今後の見通しにつきましては引き続き検討を行い、業績予想に関して修正の必要が生じたなら、速やかに開示する予定であります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,526,587	1,357,251
受取手形及び売掛金	1,078,455	1,330,563
商品及び製品	628,372	647,932
繰延税金資産	21,516	5,418
その他	123,055	118,943
貸倒引当金	△1,897	△774
流動資産合計	3,376,090	3,459,335
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	770,790	770,790
減価償却累計額	△681,317	△686,968
建物及び構築物(純額)	89,472	83,822
機械装置及び運搬具	30,298	28,072
減価償却累計額	△27,659	△25,473
機械装置及び運搬具(純額)	2,638	2,598
土地	438,325	438,325
リース資産	6,201	6,201
減価償却累計額	△3,119	△3,762
リース資産(純額)	3,082	2,439
その他	169,607	169,727
減価償却累計額	△158,826	△161,817
その他(純額)	10,780	7,910
有形固定資産合計	544,300	535,095
無形固定資産	66,398	55,218
投資その他の資産		
投資有価証券	48,913	54,321
差入保証金	349,324	341,876
繰延税金資産	13,393	845
その他	131,295	126,902
貸倒引当金	△12,570	△11,021
投資その他の資産合計	530,356	512,926
固定資産合計	1,141,054	1,103,239
資産合計	4,517,144	4,562,574

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	914,123	1,126,748
1年内償還予定の社債	67,000	51,000
1年内返済予定の長期借入金	273,324	298,102
リース債務	811	685
未払法人税等	24,954	32,555
賞与引当金	32,532	8,745
その他	82,669	126,474
流動負債合計	1,395,414	1,644,311
固定負債		
社債	51,000	—
長期借入金	429,751	305,897
リース債務	2,459	1,943
役員退職慰労引当金	56,830	29,807
退職給付に係る負債	287,268	277,076
その他	12,839	12,139
固定負債合計	840,148	626,863
負債合計	2,235,562	2,271,175
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,910,700	1,910,700
資本剰余金	88,604	88,604
利益剰余金	333,262	338,335
自己株式	△47,442	△47,442
株主資本合計	2,285,124	2,290,198
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,542	1,201
その他の包括利益累計額合計	△3,542	1,201
純資産合計	2,281,582	2,291,399
負債純資産合計	4,517,144	4,562,574

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
売上高	6,739,636	6,422,959
売上原価	4,968,355	4,759,408
売上総利益	1,771,280	1,663,550
販売費及び一般管理費		
報酬及び給料手当	782,777	743,648
賞与引当金繰入額	8,766	8,745
役員退職慰労引当金繰入額	8,096	7,963
賞与	17,592	14,896
その他	884,203	848,396
販売費及び一般管理費合計	1,701,436	1,623,650
営業利益	69,844	39,899
営業外収益		
受取利息	2,276	2,054
仕入割引	41,275	33,536
保険解約返戻金	—	9,454
その他	9,013	15,030
営業外収益合計	52,564	60,076
営業外費用		
支払利息	4,803	4,838
手形売却損	1,646	1,263
その他	2,460	3,929
営業外費用合計	8,910	10,031
経常利益	113,498	89,944
特別利益		
ゴルフ会員権売却益	—	1,662
特別利益合計	—	1,662
特別損失		
固定資産除却損	6	222
特別損失合計	6	222
税金等調整前四半期純利益	113,492	91,384
法人税、住民税及び事業税	27,840	29,931
法人税等調整額	15,451	27,980
法人税等合計	43,292	57,912
少数株主損益調整前四半期純利益	70,200	33,472
四半期純利益	70,200	33,472

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	70,200	33,472
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,750	4,743
その他の包括利益合計	2,750	4,743
四半期包括利益	72,950	38,215
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	72,950	38,215
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	カーケア関連 商品販売	その他 (注3)	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	6,627,728	111,908	6,739,636	—	6,739,636
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	272	79,277	79,550	(79,550)	—
計	6,628,001	191,185	6,819,186	(79,550)	6,739,636
セグメント利益又は損失 (△)	66,368	△5,496	60,871	8,972	69,844

(注) 1. セグメント利益の調整額8,972千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分には、「自動車販売及び整備」「看板・チラシ等の販促物の企画・製作」「保険・旅行の代理業務」等を含んでおります。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	カーケア関連 商品販売	その他 (注3)	計		
売上高					
(1)外部顧客への売上高	6,343,832	79,126	6,422,959	—	6,422,959
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	638	132,852	133,490	(133,490)	—
計	6,344,471	211,978	6,556,449	(133,490)	6,422,959
セグメント利益又は損失 (△)	35,944	△4,827	31,116	8,782	39,899

(注) 1. セグメント利益の調整額8,782千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「その他」の区分には、「看板・チラシ等の販促物の企画・製作」「保険・旅行の代理業務」等を含んでおります。